

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の生活環境に対する意識や市政への要望、評価等を把握し、今後の市政運営の基礎的資料とすることを目的として実施した。

2 調査の対象及び方法


- (1) 調査対象 6,000 人（新座市に居住する 20 歳以上の市民から無作為抽出）
- (2) 調査方法 郵送による配布・回収によるアンケート調査
- (3) 調査期間 平成 25 年 10 月 11 日～10 月 28 日

3 回収状況

- (1) 配布数 6,000 票
- (2) 回収数 2,918 票
- (3) 回収率 48.6%

4 標本抽出

対象者の抽出にあたって、市内を新座市都市計画マスタープランで定めた地域区分による 7 地域に分類し、各地域における 20 歳以上の人口（平成 25 年 8 月 1 日現在）により、6,000 の標本を比例配分した。各地域の配布数と回収数を以下に示す。

地域区分	配布数	回収数	回収率	
	市全体	6,000	2,918	48.6%
	北東地域	1,518	696	45.8%
	北西地域	671	404	60.2%
	東部地域	524	235	44.8%
	中央地域	617	282	45.7%
	西部地域	396	185	46.7%
	南部地域	1,631	733	44.9%
	南西地域	643	309	48.1%
	不明	—	74	—

5 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（新座市に住む 20 歳以上の市民）の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の算出式及び早見表を以下に示す。

統計学上の標本誤差は、①比率算出の基数（サンプル数）及び②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。今回の調査の誤差幅は±1.81%以内となる。

【標本誤差算出式】

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（新座市の 20 歳以上の市民）
 n = 比率算出の基数（回答サンプル数）
 p = 回答の比率（ $0 \leq p \leq 1$ ）

【誤差早見表】

回答比率(p) 標本数(n)	5%又は 95%程度	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
100	±4.36%	±6.00%	±7.99%	±9.16%	±9.79%	±9.99%
200	±3.08%	±4.24%	±5.65%	±6.47%	±6.92%	±7.06%
500	±1.94%	±2.67%	±3.56%	±4.08%	±4.37%	±4.46%
1,000	±1.37%	±1.88%	±2.51%	±2.88%	±3.07%	±3.14%
2,918	±0.79%	±1.09%	±1.45%	±1.66%	±1.77%	±1.81%
5,000	±0.59%	±0.82%	±1.09%	±1.25%	±1.33%	±1.36%
6,000	±0.54%	±0.74%	±0.98%	±1.13%	±1.21%	±1.23%
10,000	±0.40%	±0.55%	±0.74%	±0.84%	±0.90%	±0.92%

注) この表の計算式の信頼度は 95%

6 報告書の見方

- ① 回答の比率は、総数を 100%として算出し、小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ② 複数回答の質問は、回答者数(=総数)を分母として比率を算出しているため、合計が 100%を超える場合がある。
- ③ 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信頼性が低い。そのため、クロス集計については、50 サンプル以上を記述の対象としている。
- ④ 属性別の記述では、原則として全体の集計結果や他の属性項目と比較して、特徴又は傾向がみられるものを記述の対象としている。
- ⑤ ■経年比較■、■属性別の傾向■については、ページレイアウトの都合により、順番を変更している場合がある。